

2025年4月☆

44号



きゃんせ！えびの通信



【発行元】えびの市移住・定住支援センター

「きゃんせ！えびの通信44号」をご覧くださいありがとうございます。昨年9月より相談員になりました高野です。よろしくお願いいたします。4月になり、新しい年度になりました。私事ですが、長男も新1年生となり、車での送り迎えから大きなランドセルを背負って自分の足で通学していくと考えると感慨深いです。

移住・定住の相談窓口として開設した当センターも10年目を迎えることとなりました。空き家バンクの利用登録者や物件の登録数も増え、移住先の候補としてえびの市への関心を持たれている方も増加傾向にあります。裏面では、「まちの人の声」インタビュー記事を掲載してますのでぜひご覧ください♪



2025年1月～2月

■センター利用の状況

問い合わせ件数・・・140件

移住者数・3世帯（4人）

■空き家バンクの新規登録状況

空き家登録数・・・1件

空き地登録数・・・1件

利用希望者登録数・・・12人

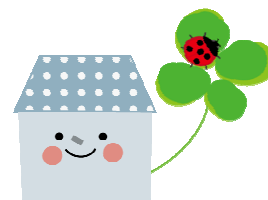
空き家バンクへの登録について

えびの市内の空き家等の売却・賃貸を考えている所有者に、物件登録をしていただき、その物件情報をホームページや窓口にて紹介します。また、空き家等の購入・借入を希望し、空き家バンク利用者として登録した方と空き家所有者との連絡調整を行います。

※ 交渉・契約の仲介行為はできません。

★ 空き家・空き地を登録するときの流れ ★

- ① 各種申請書類を入手する（ホームページでダウンロード・センターから郵送も可能）
 - ・ 空き家等登録申込書
 - ・ 空き家バンク物件登録カード
 - ・ 間取り図（空き家のみ）
 - ・ 空き家バンク登録誓約書兼同意書
- ② 書類記入後、センターまで持参または郵送
- ③ 立ち合いの元、現地確認・写真撮影（360度カメラでも撮影します）
- ④ 登録完了 ※ 現地確認の結果、登録ができない場合もあります



空き家情報

※ 詳細を知りたい方は「空き家バンク利用登録」が必要です！

🍵 空き家 No.313 <向江>

希望条件：売 650万円 貸 4.5万円

床面積：209㎡ 敷地面積：1,190㎡

間取り：5DK 駐車場：車庫有 1台



🍵 空き家 No.315 <岡松>

希望条件：売 290万円

床面積：不明 敷地面積：758.47㎡

間取り：5DK 駐車場：車庫有 1台



空き家バンク登録や、移住・定住についての相談など、

お気軽にお問い合わせください♪

えびの市移住・定住支援センター ☎ 0984-27-3242



まちの人の声インタビュー



木下 慎一さん

えびの在住歴：38年

職業：飲食業経営（風流里 ふるさと）



なにも考えず自然の音を聞きながら
リラックスするのもいいですよ。

現在、どのような暮らしをされていますか？

下大河平地区で、居酒屋『風流里』を営んでおります。2008年にオープンし、16年目となりました。宮崎地頭鶏を取り扱っており、鳥刺し、炭火焼きなどがあります。テイクアウトも可能ですし、予約制となりますがお弁当・オードブルもやっています。

“えびの”で暮らしてきてよかったこと、たいへんなことは何ですか？

仕事以外でも人との交流が多く、地域活動やボランティア活動などを通し、いろんな人脈が広がっていきます。たいへんなことと言うと、えびの市には大型商業施設がないので、足を延ばして買い物に行くことがあるということくらいですね。近くのスーパーなどに買い物に行くと、知り合いと会うことが多々あり、立ち話が長くなりますがそれも楽しい時間です。よかったことは、同級生や気心知れた友達と飲み会ができることですかね。

“えびの”の魅力、好きなところを教えてください。

えびの市は自然豊かで家の近くには『クルソン峡』という渓谷があります。川内川の上流で小さいころからよく泳ぎに行っていました。夏の猛暑日でも川の水はとても冷たく綺麗で、ヤマメなどの川魚もたくさん泳いでいますよ。あとはお米、野菜も美味しいです。

“えびの”でお勤めの休日の過ごし方を教えてください。

休日は、ゴルフの打ちっぱなしに行ったり、コンペに参加したりして過ごしています。えびの市内に穴場的な飲食店が増えてきていますので、休みのときに順番を決めて巡ってみるのもいいかと思えます。えびの市のサイトにも、飲食店情報が紹介されていますので参考になさってください。居酒屋、スナック、カフェ、ラーメン屋など、あなたのお気に入りのお店を見つけてください。

これから“えびの”へ移住を考えている人に一言お願いします。

私は若い頃、久留米（福岡県）に10年ちょっと住んでいました。えびのに帰ってきてまず感じたことは、周りの風景を見ていると、なんとなくですが『時間が止まっているような感覚』がしたことでした。時間に追われることも少なく、のんびりと生活できます。何も考えず温泉につかり、自然の音を聞きながらリラックスするのもいいと思いますよ。

2023年9月インタビュー

きゃんせえびの
ホームページ



えびの市移住・定住支援センター

〒889-4292

えびの市大字栗下1292 えびの市役所3階

電話 0984-27-3242

メールアドレス ebino-iju@aioros.ocn.ne.jp

相談時間 平日 8:30~17:15

フェイスブック
ページ

